

七条中学校だより9月1号

京都市立七条中学校

令和8年9月1日

発行:校長 林 秀雄

7C ウィーク始まる みんなで七条中をより良くする 1 週間

9月1日から始まる「7Cウィーク」。この取組は、生徒会の各委員会が中心となって企画・運営し、「より良い七条中学校を自分たちの手でつくる」ことを目指して行われます。生活委員会、体育委員会、文化委員会、美化委員会、保安委員会、図書委員会が、それぞれ工夫を凝らした活動を準備してくれています。

みなさんは、この7Cウィークをどのような行事だと思いますか。もしかしたら、「委員会の人たちが頑張る週間」と考えている人もいるかもしれません。しかし、本当に大切なのは、委員会に所属している人だけではありません。委員会に所属していない人も含め、全校生徒一人一人が参加し、「自分たちの学校をより良くするために何ができるだろう」と考えることに大きな意味があります。

例えば、生活委員会のベル前着席点検。これは単に表彰を目指す取組ではありません。授業が始まる前に心を落ち着かせて準備を整えることは、自分自身の学びを大切にすることにつながります。美化委員会の清掃点検も同じです。「誰かに言われたから掃除をする」のではなく、「みんなが気持ちよく過ごせる環境を自分たちでつくる」という意識が大切です。体育委員会の体育館開放、文化委員会の文化放送、保安委員会のクイズラリー、図書委員会のビブリオバトルも、それぞれ違う活動ですが、共通していることがあります。それは、「みんながより楽しく、より安全に、より豊かに学校生活を送るために何ができるか」を生徒自身が考え、行動しているということです。

私は、7Cウィークを通して、みなさんに一つ考えてほしいことがあります。それは、「学校を良くするのは誰ですか。」という問いです。先生でしょうか。校長でしょうか。もちろん私たち教職員も努力します。しかし、毎日学校生活を送っているのはみなさんです。七条中学校を本当により良い学校にしていく主役は、生徒のみなさん自身です。ベル前に着席すること、進んで掃除をすること、クイズラリーやビブリオバトルに参加すること、友達に声を掛けること。どれも小さな行動かもしれませんが、その小さな行動の積み重ねが学校の雰囲気をつくり、七条中学校の文化をつくっていきます。

ぜひこの1週間、「参加する人」から一歩進んで、「学校をつくる人」という意識で取り組んでみてください。みなさん一人一人のアイデアや行動が、七条中学校をさらに素敵な学校へと成長させてくれることを期待しています。7Cウィークが、みなさん自身の力で七条中学校の未来を考える1週間になることを願っています。

9月1日は何の日？

9月1日は、実はさまざまな記念日があります。二百十日（立春から数えて210日目頃）にあたり、昔から台風が来やすい時期として知られています。また、「防災の日」「民放ラジオ放送開始の日」などでもあります。その中でも、私たちが特に大切にしたいのが「防災の日」です。

防災の日は、1923年9月1日に発生した関東大震災を教訓として制定されました。この日は、「災害から命を守るために何ができるか」を改めて考える日です。

今年の夏も、日本各地で大きな自然災害が発生しました。令和8年熊本地震では多くの方々が不安な日々を過ごされました。また、千葉県で発生した豪雨災害や石川県・富山県での豪雨災害では、浸水や土砂災害によって多くの被害が発生しました。災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。学校にいる時かもしれません。家にいる時かもしれません。登下校中や外出先かもしれません。そんな時に大切なのは、パニックにならず、正しい情報をもとに自分で判断し、適切な行動をとることです。

私はこれまでみなさんに、「自分で判断し、自分で決定することの大切さ」を話してきました。災害時こそ、その力が試されます。「どこに避難すればよいのか」「今安全な場所はどこか」「周りに助けが必要な人はいないか」。一人一人が冷静に考え、行動することが、自分の命を守ることにつながります。そして、自分の命を守ることは、家族や友達、大切な人の命を守ることにもつながります。ぜひ、この防災の日をきっかけに、家族で話し合ってみてください。●地震が起きたら、どこに避難するのか。●家族が離ればなれになった時、どのように連絡を取るのか。●非常持ち出し袋や備蓄品は準備できているのか。●地域の避難場所はどこなのか。こうしたことを事前に確認しておくことが、いざという時の大きな力になります。

「自分は大丈夫」と思っている時ほど、備えが大切です。災害は防ぐことはできなくても、被害を減らすことはできます。

9月1日の防災の日に、改めて自分自身と家族の命を守るために何ができるかを考え、行動に移してほしいと思います。その小さな備えが、いつか大切な命を守ることにつながるはずです。

定期テスト 2 に向けて ～未来の自分のために、今できることを～

9月15日・16日には、定期テスト2が行われます。9月1日は、そのちょうど2週間前です。みなさんは、定期テスト1を終えた後、自分の学習を振り返ったでしょうか。「計画どおりに勉強できた」「毎日少しずつ取り組めた」という人もいれば、「もっと早く始めておけばよかった」「提出物に追われてしまった」「苦手教科の勉強時間が足りなかった」と感じた人もいるかもしれません。

大切なのは、結果だけを見ることではありません。うまくいったことは次も続けること。うまくいかなかったことは改善すること。それが次のステップにつながります。

以前、みなさんに「目標を立てよう」「自分で判断し、決定しよう」という話をしました。テスト勉強も同じです。まずは目標を決めましょう。「前回より合計点を20点上げる」「苦手な英語を重点的に勉強する」「毎日1時間は家庭学習に取り組む」「提出物を1週間前に終わらせる」など、自分なりの目標を立ててみてください。

目標が決まれば、次は計画です。テスト前日になって慌てて勉強するのではなく、2週間という時間をどのように使うか考えてみましょう。1日30分でも、1時間でも構いません。毎日続けることで、大きな力になります。特に、「まだ時間がある」と思っている今こそが大切です。勉強は、多くの場合、始めるのが一番難しいからです。しかし、一度始めれば、少しずつ習慣になっていきます。

テスト勉強とは単に点数を取るためだけのものではありません。計画を立てる力、継続する力、自分の弱点を分析する力、目標に向かって努力する力を身に付ける機会でもあります。これらの力は、将来どのような道に進んでも必ず役立つ大切な力です。

私は、この2週間を皆さんにとって「やらされる勉強」の期間ではなく、「自分の成長のために取り組む学習」の期間にしてほしいと思っています。未来の自分を変えるのは、特別な才能ではありません。今日の小さな行動です。

ぜひ、今日から学習計画を立て、主体的に学習に取り組んでください。2週間後、「今回はやり切った」と胸を張って言える自分を目指して、一歩ずつ努力を積み重ねていきましょう。みなさんの挑戦を期待しています。

訂正 第2回定期テスト時間割

学年	時間	15日(火)	16日(水)
1年	1	自学	自学
	2	理科	社会
	3	国語	英語
	4	数学	学活
2年	1	自学	自学
	2	美術	国語
	3	英語	数学
	4	社会	理科
3年	1	自学	自学
	2	数学	英語
	3	理科	社会
	4	国語	学活→美術